



彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員ネットワーク
あったかウェルねっとニュース 第35号

2021年1月5日発行

ホームページアドレス <http://attaka2018.starfree.jp/>

2011年3月11日の東日本大震災より10年が経とうとしています。失われた多くの尊い命のご冥福を祈り続けるとともに、一日も早い被災地の復興・復旧を願い、被災された皆様の安心安全を心よりお祈り申し上げます。

あったかウェルねっとの「ウェル(WELL)」は、Welfare(福祉)、Well-Being(幸福)のWell(大切にという意味)で、「温かな心で一人ひとりを大切に思うつながり」でありたい、との願いが込められています。

希望は常にある～笑顔の日常へ～

彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
 ネットワーク (あったかウェルねっと)

代表 横田八枝子

みなさま、明けましておめでとうございます。

本年はあったかウェルねっと20周年の大きな節目になりますので、みなさまのご協力ご指導をいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

2020年は未曾有の新型コロナウイルス感染拡大という事態に直面し、オンライン活動に切り替えて、みなさまのご協力をいただいております。

また、地域やボランティアに関心のある学生さんとの学び合いも殆んどがオンラインになりましたが、「障害・高齢・子ども・地域・ボランティア理解」「ICF・QOLの概念」「ふだんのくらしのしあわせ」「自分ができること」「仲間がいればできること」など学生たちは学びを自分事として捉えました。

そしてコロナ禍収束までは、みんなで出来る事を一つずつ取り組み、「治療に全力」「不安を偏見・差別にすり替えない」「希望を持ち続ける」「誰もが心のケアを大切に」「笑顔の日常を忘れず」などを心がけながら、日々変わる状況を冷静に分析し、「一人一人の命を大切に」を軸に、これまで培ってきた「実践や学び」を活かして、前向きに「共に生きる力」「地域共生社会」の実現を目指しましょう！

しかし報道では、感染拡大抑止策として埼玉県を含め「四都県に緊急事態宣言発出」検討の状況で

す。どうぞ、みなさま、これまで以上に日々のご健康に留意され、2021年を健やかに過ごされますよう心より願っております。

お知らせ 1

下記のとおり5月9日(日)に総会・研修会を行ないます。是非、ご参加ください。

2021年度 ネット総会

開催日:2021年5月9日(日) (受付9時15分～)
 開始:9時30分 議事終了:10時10分(予定)
 会場:彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
 (JR京浜東北線与野駅 西口 徒歩10分)
 対象:正会員・賛助会員及び会員を希望する方
 年会費:正会員 1,000円

賛助会員 1口:500円

総会終了後に、2021(令和3)年度の福祉教育研修会を行ないます。

現時点で予定している内容です！

2021年度 ネット研修会

-あったかウェルねっと20周年事業-
「共に生きる、地域で共に生きる」
 ～子どもの可能性の大きさと地域づくり～

2025年に向けて、年々変化する福祉課題・生活課題の現状を捉えながら、自分を大切に、他者も大切に、そして「自分のしあわせ!みんなのしあわせ!」を実現できるよう、様々な立場の人たちが出会い、学びあい、地域で共に生きる力を育み、豊かな地域共生社会を目指します。

開催日：2021年5月9日(日) (受付10時20分～)
 時間：10時40分～15時40分
 会場：彩の国すこやかプラザ2階セミナーホール
 講師：原田正樹氏 (日本福祉大学副学長・教授)
 鈴木大輔氏 (NHK テレビ・ラジオ体操指導者・
 社会福祉法人にじのいえ むぎの
 こ保育園理事長)

対象：福祉教育実践者・実践予定者・関係者・
 関心のある人 (学生を含む)

参加費：1,000円 学生 無料

定員：40名 (定員になり次第締切り)

※持ち物：特になし。服装は自由です。

※各自で昼食をご用意ください。

すこやかプラザ周辺には飲食店がありません。

内容

(1) 対談講演会「共に生きる、地域で共に生きる」
 ～地域福祉と社会福祉の重なるところ～

登壇者：原田正樹氏 (メインコーディネーター)
 鈴木大輔氏 (ゲストスピーカー)

(2) 昼食タイム ～交流・情報交換～

(3) トークスペシャル：鈴木大輔氏
 「健康としあわせに繋げる地域づくり」
 ～子どもから大人までイキイキと暮らす～
 (実践*体操*カラダ*健康の仕事人)

(4) グループワーク
 「みんなでダイアログ・タイム」
 ダイアログ (対話) しよう！
 テーマ：健康って、幸せってなあに？
 1. 最初に全員が短く一言ずつ (チェックイン)
 2. 自分の考えを出し合う、他人の意見を尊重
 する、共感して他人の意見を受け止める。
 3. 結論を急がず、問いかけ続ける。

♡ 対話を通して一緒に創りましょう！

(5) まとめ「共に生きる」原田正樹氏

※事前の申込みをお願いします。

氏名・連絡先・市町村・所属をお知らせください。

申込先：ねっと事務局 須田 049-283-1865 (FAX)

メールアドレス masako@niconico39.net

☆【注】新型コロナウイルス感染拡大防止のためプログラムの変更、延期等が生じる場合があります。その場合は、HP、Facebook、会員メーリングリスト等でもお知らせします。

冬カフェ新春企画！
 1月と2月にも！

ZOOMで
 行ないま
 す

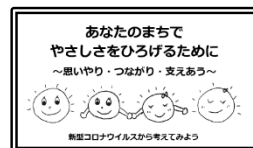
お知らせ 2

まなびばしゃべりばカフェ 2021 冬
 (その1) ZOOMによるオンライン開催

あなたのまちで・やさしさをひろげるために
 ～思いやり・つながり・支えあう～
 (新型コロナウイルスから考えてみよう)

日時：2021年1月29日(金) 14時～15時30分
 話題提供：片桐啓太氏 (埼玉県社協地域活動支援課)

10月に行なわれた令和2年度全国福祉教育推進員研修(全国福祉教育推進員フォローアップセミナー)第1回WEBセミナー～コロナ禍における新たな福祉教育を考える～で提唱された『全社協版「コロナ禍における福祉教育教材」の活用について』を元に意見交換をします。



全社協福祉教育推進委員会作成
 「あなたのまちでやさしさをひろげるために」より引用↑

まなびばしゃべりばカフェ 2021 冬
 (その2) ZOOMによるオンライン開催

報告会「2020年度日本福祉教育・ボランティア学習学会で研究発表しました！」
 タイトル『With コロナ・After コロナを見据えた新しいつながりの可能性を探る～オンライン高齢者サロンの背景と福祉教育との接点』

日時：2021年2月14日(日) 14時～15時30分
 話題提供：須田正子、横田八枝子 (坂戸市推進員)

コロナ禍によりサロン等の地域活動が縮小したり繋がりが薄れたりする中で、オンラインを活用しサロンを継続している「坂戸市地域交流ボランティアよりあい*ええげえし」の報告を聞き、新たなつながりや可能性について考え合ひましょう。

冬カフェその1、その2とも申込みはメールで！

アドレス masako@niconico39.net (須田)

氏名・市町村・所属・メールアドレスをお知らせください。事前に招待URLをお送りします。

来る第27回学会は
埼玉大会です！

お知らせ 3

日本福祉教育・ボランティア学習学会の
埼玉大会が行なわれます。(11/27.28)

2021年11月27日(土)～28日(日)に、日本福祉教育・ボランティア学習学会学術大会 第27回埼玉大会が行なわれます。(詳細は後日)

2006年の第12回埼玉大会では、県内の福祉教育・ボランティア学習の実践や研究が促進され、それぞれの活動がより充実したものとなりました。第27回大会は15年ぶりに埼玉での開催となります。あったかウェルねっと会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

報告

まなびばしゃべりばカフェ 2020 夏
ZOOMによるオンラインミーティング
小学1年生からのプログラミング
～遊びの中から、体験の中から～

8月5日のまなびばしゃべりばカフェは、コロナウイルス感染防止のため、初めてのオンライン開催となりました。話題提供は和田弘氏(川越市推進員)でWeb会議ソフトZOOMの「画面共有」で、資料と映像による説明がありました。(参加者14名)

年齢や障害の有無にかかわらず誰でも集える地域での居場所づくりを目標にする中、子供の居場所を優先課題として取り組みはじめようとする和田氏は、学習支援の入り口にプログラミング体験を取り入れようとしていました。

世界中で数百万の子供達が利用しているプログラミング環境「スクラッチ」の紹介があり、世界各国の子どもたちが作ったプログラムを体験するなど、目新しい話題を提供していただきました。

2020年度の小学校プログラミング教育の必修化が注目されているなか、小学生向けプログラミングを例にとり、これから伝えていきたいことや福

祉教育との接点などを学び合いました。

人事院関東地区中堅係員研修で講師
7年目・今年度から合同庁舎で

12月9日(水)、さいたま新都心合同庁舎で行なわれた人事院研修で、木野(毛呂山町)、高橋(坂戸市・あしたば会員2名も)、吉村(さいたま市)、須田(坂戸市)で講師を務めました。



片桐氏(埼玉県社協)の講話を引き継ぎ、木野氏による「相手の立場に立つて」の講話、感染対策しながら車いす・アイマスク体験、グループワークを行ないました。様々な職種の受講生47名からは「思いやり・自分ごととして考える・知らないから気付く・声掛け・実体験の大切さ・コミュニケーション・自分だったらどうしてほしいか・多角的な視点を持つ」等のキーワードが出され、今後の業務に活かされることを願いました。

With you さいたまフェスティバル
今年度の参加は見合わせました

2021年2月5日(金)～7日(日)の開催予定ではありますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止が最優先で、様々な制限を設けざるを得ない状況です。来訪者との交流の機会が得られないため、今年度の参加を見合わせました。

若福研究会コーナー

2016年にはじまった若者への福祉教育研究会(以下、若福研)は、3年間の研究会を経て、埼玉県内での当事者らが行っている25の実践を報告書としてまとめています。

その研究会から、施設プロジェクトが生まれました。埼玉県内の社会福祉施設への福祉教育に関するアンケート(2018年8月)を経て、菱沼幹男氏(日本社会事業大学准教授)らのアドバイスを受けながら、研究会を8回実施しました。研究会では、受入れる施設側が、子ども・若者の発達段階に応じたプログラムを整理し、発表をしていただきました。このプログラムをまとめた「埼玉発！次世代の共生を育む～地域と共にある施設を目指す福祉教育実践プログラム～」を2020年3月に発行しました。

また、若者自身が発信する機会が少ないということから、「若者発！ボランティア・福祉教育実践研究プロジェクト」を2020年3月に発行しました。川田虎男氏（聖学院大学非常勤講師）がアドバイザーとしてかわり、2019年に地域の7つの若者ボランティア団体が自分たちの活動を発信や交流の活動をまとめたものです。さらに、この取り組みは川田氏により2020年度福祉教育・ボランティア学習学会に研究発表を行い、その実践について深めています。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大により、福祉教育実践が大きな影響を受けました。若福研での施設プロジェクトも若者プロジェクトも報告書を受けての実践がとまっています。このような、まだ先の読めない状況が続いていても、福祉教育実践の理念を共有しながら、つながりを止めない展開を進めていきたいと考えています。

なおご紹介しました若福研が発行した3つの報告書は必要な方にお配りしていますので、お問い合わせください。

県社協からの情報

長引くコロナ禍によって、人と人とが接触する機会を減らすことが求められ、福祉教育・ボランティア活動は自粛せざるを得ない状況が続いています。しかし、こんな時だからこそ、つながりを途切れさせない取組はますます重要であり、県内各地で工夫した活動も始まっています。

感染拡大に配慮しつつ、互いを気づかい合っ
て、共に困難を乗り越えていけるような地域づくり・まちづくりを進めていきたいですね。

県社協では、隣近所の“さりげない気づかい”
“ちょっとした目配り”など、地域に関心を向けていただく応援者を増やし、誰もが暮らしやすいまちづくりを目指して「生活支援サーポーター養成事業」を行っています。これまでに17,676名の方が認定され、福祉活動にご協力いただいています。

コロナ禍でも、感染予防対策を講じて養成事業は実施しています。詳細は以下のURLから本会ホームページをご確認ください。

URL https://www.fukushi-saitama.or.jp/site/community_9.html

○令和2年度福祉教育推進者研修の中止について
新型コロナウイルス感染症対策で、多くの学校において、福祉教育の実施が例年に比べ縮小傾向

にあります。また、県教育委員会からは、緊急事態宣言時の臨時休業の影響による授業の遅れを取り戻すための対応等、教員の負担が急増していることを背景に、今年度については、学校の業務以外の取組は困難との連絡が来ています。

こうした事情を踏まえ、県内の福祉教育の推進とともに、福祉教育実践者と福祉教育に関心の高い教員とのつながりづくりを目的とする本研修は、今年度はやむを得ず、中止することとしました。

冒頭の通り、コロナ禍においても様々な創意工夫による、新しい形の活動が生まれ始めています。本会としては、現在は新たな福祉教育のあり方が育まれつつある、いわば過渡期であると捉え、事例収集や事業見直しに取り組んでいる状況です。

再び研修を実施する際は、この場をお借りしてまたご連絡いたします。

～参考に～

○全社協 未来の豊かな“つながり”のための全国アクション

新型コロナウイルス下での“つながり”をあきらめない地域福祉・ボランティア活動交流サイトです。全国各地の“つながり”のための活動事例が紹介されています。

URL <https://tunagari-action.jp/?ns>

事務局情報

会費振込先のお知らせ

活動は、ねっと会費(年1000円)で運営しています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

振込先：埼玉りそな銀行武蔵浦和支店・

普通預金口座番号：5015782

名義：彩の国福祉教育ボランティア学習推進員ネットワーク

編集後記

特別な一年を過ごし迎えた新年。「ふだんのくらしのしあわせ」を改めて考えた三が日でした。皆さまからの情報もお待ちしています。

発行：彩の国福祉教育・ボランティア学習推進員
ネットワーク(通称：あったかウエルねっと)
編集：あったかウエルねっと(情報担当)
連絡先：埼玉県社会福祉協議会地域活動支援課
TEL：048-822-1435 FAX：048-822-3078
Mail：vc@fukushi-saitama.or.jp